

社会福祉法人 長幼会

令和6年度 事業報告書



心を支える 支え合う「心の花」

目 次

1	はじめに	1
2	令和6年度事業報告	1
3	すくすく保育園事業報告	8
4	千丸台保育園事業報告	1 6
5	横浜みなとみらい保育園事業報告	2 3
6	玉川保育園事業報告	3 3
7	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告	4 5

社会福祉法人長幼会 令和6年度事業報告

【はじめに】

保護者から選ばれる園、保育の質の向上が必要となる社会情勢を強く感じる年度でした。

地域社会、保護者から「質の高い園」「質の高い保育士の在職」「安心して預けられる園」と評価され、求められる経営と運営を目指し取り組んできました。

重点目標に掲げた「次世代管理職の育成」「新採用職員研修の充実」「職員育成研修の強化」が「質」の高い保育園経営につながります。しかし以上の目標達成には課題は残りました。来年度においては職員研修のさらなる充実を図り、質の向上を目指していくことが重要と感じています。

長幼会として、持続的発展に向けた事業を推進し、現状の分析把握をし「中長期計画」を踏まえた目標設定を来年度は掲げ、目標達成するための手立てや具体的な取り組み計画を明確にし、取り組んでいきます。

【令和7年度重点目標】

- 1) 質の高い園経営・運営
- 2) 職員育成研修の充実と質の高い保育士育成
- 3) 人間関係の構築

I 令和6年度事業報告

(1) 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

- ① 理事会と評議会の開催において、ご意見の交換やご指導を頂ける取り組みができました。貴重なご指摘事項や参考意見を取り入れ運営・経営の充実を図ることができました。
- ② 法人本部、機能体制を明確にし、「経理・総務・人事」「法制度改正・財務指標」「事故把握・リスクマネジメント」「職員管理・人事管理・職員育成」の本部組織体制を図り、各事業所への運営支援に努めました。各事業所と本部との機能体制の明確性について課題が残りましたが、新たな取り組みや会議を工夫し、来年度共通理解と改善を図り円滑な運営につなげていきます。

(2) 事業運営の透明性の向上に向けた取り組み

- ① 閲覧対処書類の拡大に伴い、情報公開の面から法人各事業の情報を迅速かつ円滑に発信できるようにハード・ソフトの両面から整備を図ることができました。
- ・ 事業報告、事業計画、計算書類、現状報告、役員報酬基準など、公表に係るものについてコン

プライアンスの面から速やかに対応するとともに、各種法改正の施行に合わせ関係規定の見直しを遅滞なく推進し、改定を実行しました。

- ・ 情報公開を積極的に進めることから、法人ホームページ、採用ホームページなどのソフト面からの見直し、作成に向けたP C周辺機器の整備を図ってきました。

インターネットを活用した保護者への情報提供、オンライン研修等、環境整備に伴う機材の導入とセキュリティ対策の整備にも努めました。

- ・ 広報誌の活用等に関しては、必要に応じて対応してきました。

- ② 行政監査の定期的な受審と事業所の自己評価を進め、結果については、法人ホームページで公開してきました。他にも保護者アンケート等を取り入れ、事業運営の透明性の向上に努めてきました。

(3) 財務規律・基盤の強化

社会法人会計基準に基づく会計処理はもとより、税理士法人(アイ・パートナーズ)との連携を図り、支援を行ってきました。取り組みや工夫・改善の課題もあります。

- ・ 経理規定の遵守 ～ 適性かつ公正な資質管理の確保、会計処理に努めました。
- ・ 予算管理の徹底 ～ 月次の状況を踏まえ、補正予算の編成を行いました。

(4) 地域における公益的な取り組みの推進

地域における公益的な取り組みに向け、社会福祉充実計画(地域貢献を主とした推進計画)の設定を進めてきましたが、昨年と同様に設定まで至りませんでした。

(5) 新たな事業の開拓に向けた取り組みの推進

法人としての総合力を活かせる事業創出の取り組みの推進までは至りませんでした。課題として感じております。

(6) やりがい、働きがいのある法人を目指す取り組み

法人の理念「職員は豊かな愛情をもって児童に接し、児童の最善の利益を尊重するための知識の習得と技術の向上に努めます」の趣旨や目的を研修して、法人職員としてのやりがいや保育士としてのやりがいと魅力「子どもの成長の支援からの喜び」「働く保護者の手助けからの感謝」が働きがいにつながっていく事の研修を通して取り組みに努めました。さらなる研修の必要性を感じています。

キャリアパスに基づく職務・賃金処遇のあり方については、検討してまいりましたが解決に至るまでにはいかず、引き続きの検討事項があります。

(7) 福利厚生制度の充実

- ・職員の将来設計に向けた人事処遇制度の検討の充実を推進しています。
- ・保育士宿舍借上げ制度に伴う借り上げ社宅の適性運用を図り、入居基準の見直しを行い、適切に遂行しました。
- ・様々な保険会社と保障内容の比較を行い、A I G損害保険会社「業務災害総合保険」に継続加入しています。
- ・法人独自の退職金制度については、引き続き検討しています。
- ・余暇の有効活用に資する施設との法人契約は、継続します。

Ⅱ 重点目標の取り組みの成果と課題

(1) 質の高い園経営・運営

今後予想される厳しい園経営・運営の時代に向けて「保護者から選ばれる保育園」を目指し、今までの経営・運営方法の視野を広げ「園の特色・特性、質の高い保育士、集園広報の工夫と拡大、地域連携・地域に根付いた園」を視野に、質の高い園経営・運営に取り組みました。

各園の特性を生かした子育て支援の充実「保護者の子育ての喜びを感じられる支援」「地域に開かれた園」「関係機関との連携」を図り、保護者・地域・相談や学習の必要性を感じている園外保護者が子育て支援が受けられるように情報発信し、活動を推進しました。様々な成果も見えてきました。さらなる充実を目指し取り組んでいきます。

(2) 次世代管理職の育成

長幼会組織、事業所の将来像と展望を考えると、次世代リーダーの育成に伴う中間管理育成が必要です。

学び続ける保育士が描く成長ビジョンとして、各キャリアステージにおける資質能力向上の先に、管理職としての選択肢を設定できる育成に努めてきましたが、成果としては達成されていません。

次世代管理職に求められるスキル、必要な資質・能力の研修計画を明確にし、研修の充実を図り、早急に取り組むことが必要である。

(3) 組織体制における職務・役割の明確化

園の目標を達成するため、職員の「役職・役割」を適切に配置を行い、組織の「役職・役割」を明確に提示し、職員全体で協力して運営していくことが豊かな園経営につながっていきます。

そのためには、「役職・役割」を具体的な取り組みを周知することが重要であり、「園長・副園長を支える主任」「主任を支え、職員をまとめる要となる乳幼児主任」の組織体制を明確にする職員周知、育

成が課題であり、円滑な運営に支障を生じている。

(4) 新採用職員の研修の充実

長幼会職員としての使命感を養うとともに、幅広い識見を習得し実践的な指導力向上を図り、育成すべき資質能力を明確にし、保育士生活の基盤をつくるとともに保育力の向上と豊かな人間性の研修に各園の特色を活かし推進しました。さらに、新採用職員本部面接も行き、研修の進行や育成確認とサポートやアドバイスにも努めました。「長幼会・園の貴重な人材」として園全体で「どの様に関わり」「どの様に育成」するかの計画と取り組み体制を図り、次年度は育成推進、研修の充実に努めていきます。

(5) 職員の育成研修の充実と質の高い保育士の育成

職員の資質・能力の向上や人材育成に努め、より良い園経営と園目標達成を目指すため、育成計画と研修計画を提示し、推進を図りましたが充実には至りませんでした。

社会情勢の変容により、これからは、保護者から選ばれる園、質の高い園を目指す根幹として、次年度、研修の充実に努め成果と発展につなげていきます。

(6) コミュニケーション・人間関係の構築

法人職員としての自覚と責任を持ち「チームワーク」を大切にし、職員同士が仲間と認め合う集団形成を構築するため、職員研修の中で「思いやり・感謝」「使命感・責任感」「社会性・人間性」「コミュニケーション」等の社会人としての育成に努めてきました。

職員が離職する原因として、仕事の悩みや人間関係の悩み等があげられます。こうした職員の不安を先輩職員がサポートし、いち早く法人・園に馴染め、職員の定着率向上が図れる計画、取り組みを推進しましたが、現状は課題が残りました。

様々な分析を図り、充実した計画と取り組みを推進し、課題解決に努めていきます。

(7) 本部機能強化と部局への支援体制

本部機能・本部体制を明確にし、「経理・総務・人事」「法制度改正・財務指標」「事故把握・リスクマネジメント」「職員管理・人事管理・職員育成」の本部組織体制を図り、各事業所への運営支援に努めました。体制機能の共通理解や管理周知の徹底不足もあり、課題が残りました。

来年度、共通理解と改善を図り円滑な運営につなげていきます。

(8) 処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの円滑な運営

子育て支援新制度の一環として、施設型給付における処遇改善に関わる加算が設定されています。その中では、「キャリアパス要件」を満たすことが必修であり、法人としてのキャリアパスイメージを

作成し、職員の経験年数に応じ、保育士に求められる資質や役割を明確にしながら、さらなるステップアップにつながる研修体系と処遇を連動する仕組みを構築し、規定に基づき適切な処遇とそれに伴う育成に努めました。キャリアに準じた育成基準を満たす成長までには課題は残りました。

キャリアパスに基づく職務・処遇の在り方については、検討事項として、取り組んでいきます。

Ⅲ 事業ならびにその運営状況

定款の定める法人事業目標達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブを運営に努めてきました。

保育所保育指針に基づき、改定において規定された保育の内容に関わる基本原則事項を踏まえ、長幼会各保育園における実情に応じて創意工夫を図り、保育所の機能及び質の向上に努め、地域や利用者から愛され信頼される保育園運営を目指し、保育目標「思いやりのあるたくましい子の育成」達成にむけ、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情をもって子育て支援に取り組んできました。

少子化の加速や社会が変動していく時代に保護者・地域から「選ばれる保育園」「質の高い保育園」「質の高い保育士の在籍」と評価され、明るく希望の持てる長幼会の発展と展望を考え、これからの保育園の役割・機能のあるべき方向性と在り方を「中長期計画」(令和 5 年から令和 9 年の五年間)を設定しました。

計画を掲げることが目的でなく、計画に掲げた目標の課題解決に向けて、「具体的に何をするのか」「どんなゴールを目指すのか」を明確にし、社会福祉法人としての役割と使命感を活かして目標達成に努め、地域社会に貢献できるように取り組んでいきます。



令和6年度 すくすく保育園 事業報告

定員59名 (在籍72名)

1 施設運営状況

見学に来られる方には豊かな自然に囲まれ、恵まれた立地条件を活かした自然に親しめる環境の中での保育内容・育児・離乳食に関する説明等、丁寧に対応してきました。しかし、昨今の入所に対する保護者の考え方は様々で、働き方の多様化、自身のライフスタイルに合わせた園選びが優先されることが多く、特に0歳児は年度初めの定員充足は難しい状況の中でのスタートでした。期中において地域との連携、未就園児との交流保育、園の外の掲示板を通しての園からの情報の発信や行事への参加の呼びかけ、近隣の郵便局へ園児の作品を掲示してもらうなど、園を知ってもらう働きかけを推進した運営を進め、年度当所は67名でのスタートでしたが、年度の後半には定員の約25%増の利用人数になり、委託費収入の安定に繋げることができました。

職員体制については、横浜市の配置基準を遵守し、職員間で連携を取りながら保育を進め、人件費支出を抑えてきましたが、育休・療休・気候に伴う体調不良・時短勤務等、余裕のない職員配置の中での運営となりました。

決められた委託費収入の中で、職員採用に係る人件費支出のバランスをどうとるのが毎年の課題です。安定した運営ができるよう、世の中の動向に目を向け、配置基準を遵守しながら少し余裕を持たせるための職員採用を進めていきます。

また、今年度は第三者評価を受審したことにより、職員の意識として改めて園を知り、自分たちの振り返りと共に、今までの保育を見直す機会になりました。評価では豊かな自然環境を活かしての保育の取り組み・高齢者との関わり・太鼓指導を通しての伝統文化の継承等、良い評価を得ることができました。今後も自然とのふれあい・人とのふれあいを通して、日々の保育を大切に取り組んでいきます。

2 利用者支援状況

- * 保育目標の「思いやりのあるたくましい子の育成」を目指し、園として、子どもたち一人ひとりが自分らしさを発揮できるよう、寄り添い、気持ちを受け止め、環境を整え、活動できるよう取り組んできました。乳児は基本的な生活習慣の定着、幼児は自分の思いや考えを言葉や行動で表現し、周りとの関わりを深めることを目標に日々の保育や行事に取り組んできました。
- * 園の立地条件を利用し、園外保育・菜園活動・園の回りの生き物の飼育を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋げてきました。
- * 生き物については、新しい命との出会いを期待しつつ、成長の様子を子どもたちと一緒に共有し保育につなげてきました。

* 配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、保護者との信頼関係を築きながら、子どもたちに対する共通理解を深められるよう取り組みました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が同じ対応をしてきました

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	33	33	34	34	34	34	36	36	36	35	35	35	415	34.6
女児	35	34	35	35	35	37	37	37	37	37	37	37	433	36.1
計	68	67	69	69	69	71	73	73	73	72	72	72	848	70.7

【年間利用者状況推移】（各年度3月1日）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	10	12	13	12	13	12	72
令和2年度	10	12	13	13	12	13	73
令和3年度	9	12	12	13	13	12	71
令和4年度	9	12	13	12	13	13	72
令和5年度	8	11	12	13	13	13	70
令和6年度	9	12	13	13	12	13	72

3 職員の状況

- * 職員体制については、余裕のない職員配置の中での運営となりましたが、キャリアアップ研修や自己研鑽の研修への参加の時間の確保、年休取得等、職員間で連携を取りながら保育を進め、安心して取得できるよう努めてきました。
- * 職員の入れ替わりにより話し合う機会が増え、お互いの保育観や価値観の違いを知ることで個々の保育の見直しや職員間の活性化に繋がりました。
- * ICTの導入により日々の日誌・月の書類・個別の書類に加え保健・保護者連絡等も活用できるようになり、職員の業務時間短縮に繋がりました。

職 名	令和 6 年 4 月 1 日 の職員数					年間退任・就任											令和 7 年 4 月 1 日の職員数 (常勤換算は 3 月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員										正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計	契 約 職 員	非 常 勤 A		非 常 勤 B	常 勤 換 算				
							就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任											
園 長	1				1										1						1	1	
副園長															1						1	1	
保育士	16			6	22	2	2							2	2	14			5	2.1	19	16.1	
看護師	1				1	1	1					1		2	1	1			1	0.3	2	1	
栄養士	2				2		1								1	2					2	2	
調理員	1			3	4							1			1	1	1		2	0.8	3	1.8	
事務員	1				1											1					1	1	
保育補助				1	1								1		1				0		0	0.0	
用 務																					0	0	
嘱託医				2	2														2		2	0	
計	22	0	0	12	34	3	4	0	0	0	0	1	2	4	6	21	0	0	10	3.2	31	24.2	

臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

- ・設備の経年劣化に伴い、保育室・給食室・園庭等で修理・機材の入れ替え等、対応を行いました。
- ・2階全体の空調設備に不具合が生じ、一時的に室温管理ができない状況になり修理を行いました。
- ・給食室のダムウエーター・食洗器の入れ替えを行いました。
- ・園庭の柵の支柱が中で折れ、修理を行いました。

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月 1日	入園式	11月14日	焼き芋会
4月26日	子どもの日を祝う会	11月22日	煙体験（防災）
6月 8日	ふれあい祭り	12月 7日	発表会
6月11日	じゃがいも堀り（澤さんの畑）	12月12日	餅つき
6月17日	プール開き	12月17日	足湯（みかん湯）
6月20日	歯科検診	12月24日	お楽しみ会
6月24日	歯磨き指導	1月15日	団子作り
7月 4日	七夕会	1月16日	どんど焼き
7月12日	すくすくデイキャンプ（年長児）	1月23日	お店屋さんごっこ
7月22日	しゃぼん玉ショー	1月31日	お別れ遠足（年長児親子）
8月29日	プール納め	2月 9日	和太鼓成果発表会（年長児）
9月 2日	総合防災訓練	3月 3日	ひな祭り会
9月 5日	敬老の日の集い	3月 4日	おはなし会
9月19日	おまつりごっこ	3月 7日	バチ譲渡式
10月 1日	さつまいも堀り	3月15日	卒園式
10月12日	運動会	3月17日	お別れ会
10月24日	内科健診	3月31日	進級式
10月20日	幼児園外保育		
10月25日	航空写真（園舎・全園児）		
10月31日	なかよしパーティーごっこ		

6 健康管理

- 常勤の看護師を配置し、必要に応じて園医・医療機関・関係機関と連絡を取り、子ども一人一人の成長に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。また、姉妹園で開催されている安全衛生員会に参加し、産業医からの講義や資料等の情報を得、園の中で活かしていきました。
- ・歯磨き指導や手洗い指導等、年齢に合わせた形で実施しました。手洗いについては、日々の保育の中で様子を確認し、保育士と共に声掛けを行いながら定着するよう努めました。

- ・保護者に向けて子どもの発達が目安やスキンケアの仕方等、視覚から入りやすいようグラフやイラストを利用し伝える取り組みを進めてきました。
- ・看護師がクラスを巡回し、連絡帳の確認とともに健康観察・午睡明けの検温を行い必要に応じて保護者への連絡を行い、病気の早期発見に努めました。
- ・会議の時間に熱性痙攣や嘔吐処理、誤嚥の対応等、動画を見ながら研修・演習を行いました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。
- ・全園児を対象に独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、園での病院受診の際に必要な応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、0歳児は5分、1歳児は10分ごとにブレスチェックを行いチェック表に記入し予防に努めました。

<保育室衛生管理>

- ・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行いました。
- ・保護者・園児の登園時における手洗いの遵守をお願いし、感染防止に努めました。
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機、1・2階のホールに空気清浄機を設置し、集団感染の予防に努めました。
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置し、感染予防に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止に努めました

<利用者>

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診（年2回）	5月10日・10月23日	全園児
歯科健診（年2回）	6月20日・11月28日	全園児
視聴覚検査（年1回）	12月18日	3歳児
尿検査（年1回）	5月17日	4・5歳児
身体測定（毎月1回）	毎月15日頃	全園児
爪検査（週1回）	毎週月曜日	全園児

<職員>

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断（年1回）	7月～8月	全職員
細菌検査（月1回）	毎月	全職員
ノロウイルス検査（月1回）	11月～3月	給食室
予防接種（年1回）	10月～	全職員
健康チェック（毎月）	出勤時	全職員

7 栄養管理

月に1度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・保育士が連携し、子どもたちに食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体の成長について関心が持てるような取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・補食・夕食）の配布。また、補食・夕食については、家庭的な雰囲気の中で、楽しく・美味しく食べることができるよう取り組みました。
- ・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。
- ・子どもたちの好きな絵本を活用し、絵本の中の食べ物と給食・おやつのメニューを連動させ、少しでも食に興味を持ってもらえるよう進めてきました。

＜給食室衛生管理＞

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を行いました。
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒を行い衛生管理に努めました。
- ・食器類は洗浄後、熱風庫にて保管し衛生管理に努めました。
- ・検品として、原材料・調理済み食品は、14日間保存（15日目に破棄）を行いました。

8 施設の衛生管理

- ・年に2回（春・秋）、害虫駆除を実施しました。

9 安全管理

- ・毎月1回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練実施し、職員も交代で水消火器を使用しての消火訓練を行う中で、消火器の使い方を学びました。
- ・年1回（9月の総合防災訓練時）保護者に引き渡すことを想定し職員同士で引き渡し訓練を行いました。
- ・講師の方に来ていただき、災害時の対応についての研修を受講し、災害時の判断の基準についてマニュアルの見直しを行いました。また、危険予知の観点から、園舎内での安全な場所・危険な場所を確認し、シールを貼ることで子どもたちにもわかりやすく伝えてきました。
- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認を行いました。
- ・月1回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認し、不具合箇所については修理を行いました。
- ・防災設備点検の実施（年2回）、4月の点検の際には都筑消防署に書類を届出しました。
- ・危機管理や災害時の連絡ツールとして、IP無線機を使用し、園だけでなく、法人内の各園とも

連絡を取れるよう設定し、総合防災訓練時に活用しました。日々の保育では散歩や園外保育で活用してきました。

- ・非常食糧の備蓄（全園児＋職員）×3食×（1日～3日）分を分散備蓄で確保しています。
- ・110番通報システムを導入し、何かあった時（不審者の侵入等）には防犯ブザーを押すことで直接警察に通報が行き、迅速に対応してもらえるようになっています。
- ・園舎の警備についてはセコムに依頼し、24時間体制で警備してもらい何かあった際には迅速に対応してもらえるようになっています。

10 特別保育事業の実施

＜一時保育事業＞

- ・一時保育は、6月より受け入れを行いました。
- ・4歳児に聴覚障害のお子さんの利用があり、聾学校の職員と連携を取りながら週に1度の受け入れを行いました。職員も簡単な手話を学んでおり、日々の関わりの中でコミュニケーションを取る際に取り入れています。補聴器を使用していることもあり、言葉でのやり取りも増えてきています。

＜地域活動推進事業＞

- * 実習生・中高生の保育体験受け入れを行いました。
- * 世代間交流は、2歳児・5歳児が敬老の日に都筑ハートフルステーションのデイサービスに伺い、歌と子どもたちが制作したプレゼントを届けに行き、交流をしてきました。
- * 郵便局に園児が作った制作を毎月飾っていただくとともに、クリスマスの際には郵便局長がサンタクロースとして園児にプレゼントを届けに来てくれるなど、地域との関わりを深めることができました。
- * 保護者の方が参加しているボランティアグループの方に来ていただき、演奏会を開催しました。
- * リプリント（ボランティアグループ）の方に来ていただき、絵本の読み聞かせを行いました。
- * 園庭開放・育児相談を行いました。
- * 幼・保・小の連携では中川小学校・勝田小学校1年生や近隣保育園（やまた保育園・キッズフォレ）と交流を行いました。

＜障害児保育事業＞

- ・障害児認定の子どもはいませんが、支援が必要な子どもについては、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、保育支援を行いました。
- ・春と秋の2回、北部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深め、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

＜延長保育事業＞

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

＜体操指導 年 20 回＞

＜太鼓指導 年 13 回＞…3 歳児～5 歳児

＜えいご 年 12 回＞…2 歳児～5 歳児

1 1 保護者に向けて

- ・年間行事は通常通りの開催に戻し、保護者の方に参加していただく中で、お子さんたちの姿を見ていただきました。
- ・ドキュメンテーションを取り入れ、日々のねらいや取り組みの様子を写真で保護者の方に伝え、コミュニケーションを広げてきました。
- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について、説明文とともに保護者に配布し、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明を個別に行う中で説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者と園で卒園まで保管します。
- ・緊急時防災連絡に使用する為、アプリの利用登録を保護者をお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子を発信し、既読確認を行い伝達漏れがないよう努めました。
- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させ、すぐにできるものは都度、見直しが必要なものについては次年度に取り入れられるよう対応してきました。
- ・懇談会・保育参観は、来園する方の人数制限や時間の割り振りをを行いながら、お子さんたちの姿を見ていただく機会を設けました。
- ・年1回の個人面談では、園や家庭での様子を伝え、子どもたちに対して同じ視点で関わるができるよう共通理解を図りました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。
- ・保護者の方の不安や、ご意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・園長が話をし、早めの対応に心がけました。
- ・保護者の方の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取る中で、日常の保護者に対する支援に努めてきました。

＜毎月1日発行＞

園だより ・クラスだより ・保健だより ・給食だより

＜月末に発行＞

献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・補食・夕食）

1 2 職員・園務

- ・就学する小学校への書類の受け渡しだけでなく、直接、電話や対面で連絡を取り、子どもたちの様子を伝えて、子どもたちが安心して就学出来るよう、連携を図ってきました。
- ・職員の処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、職員処遇改善費は計画書の届け出を行い、職員対して賃金の改善を図るとともに、処遇改善等加算Ⅱについてはキャリアアップ研修への参加に努めました。
- ・育児短時間勤務 2 名

- ・育休取得 1名

＜その他＞

- ・業務災害総合保険（AIG）引き続き加入し、職員の医療等に伴う負担軽減に努めました。
- ・福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）に加入し、福利厚生を強めてきました。

1.3 令和6年度研修内容

参加した研修については、会議で報告し、日々の保育の中に取り入れ活かしてきました。

キャリアアップ研修については、対象職員を中心に経験年数等を含め、研修を受講してきました。

【令和6年度研修内容】

主 催	内 容	人 数
横浜市子ども青少年局	園内研修リーダー育成（マネジメント）	1名
	小児保健	1名
横浜市 幼保小教育交流事業	公開保育（中川西保育園）	1名
都筑区子ども家庭支援課	五感を育む自然体験研修	1名
	救急法	3名
	防災情報交換会	1名
	保育のためのタイムマネジメント	1名
横浜市 私立園長会	組織マネジメント	1名

【令和6年度キャリアアップ研修】

主 催	内 容	人 数
横浜女子短期	乳児保育	2名
横浜女子短期	保護者支援	1名
保育のデザイン研究所	食育・アレルギー対応	1名
保育のデザイン研究所	保護者支援・子育て支援	1名
保育のデザイン研究所	保育衛生・安全対策	1名
保育のデザイン研究所	幼児保育	1名
保育のデザイン研究所	マネジメント	1名

【園主導園内研修】

主 催	内 容	人 数
child-lifes	小児と乳児の心肺蘇生法・AEDと応急手当	21名
わらべうたの会（あぶくたった）	わらべうた	2名
ろう特別支援学校	きこえと補聴器について	1名
打鼓音	太鼓づくり	2名
大和市消防本部	応急手当普及員	1名



令和6年度 千丸台保育園 事業報告

定員100名 (在籍 102名)

1 施設運営状況

令和6年度は横浜市より移管を受けてから長幼会千丸台保育園として20年目を迎える事ができ、これまで支えていただいた地域の方々や保護者の方に感謝をしています。今年度も安定した運営の中で自然に恵まれた環境を活かし、充実した保育を提供することが出来ました。

定員を超える園児の在籍数102名となり、運営はゆとりを持って行う事が出来ました。委託費が予算を上回り、さらに横浜市の補助金を活用したことで環境設備の充実を図る事が出来、子どもたちの過ごしやすい場を準備する事ができました。またプライバシーの確保のためパーテーションを購入し、保育で活用することが出来ました。

昨年度に引き続き、人件費を抑え運営してまいりましたが保育体制としてはゆとりを持たずに、職員が声を掛け合い、協力しながら体制のやりくりが必要になりました。

そして特に物価高騰の影響が強く、食材の値上がりから給食費を抑える努力をしました。メニューの見直しや業者の選定をし、安くて良いものが提供できるようにしたことで大きな支出にならず、安全でおいしい給食の提供につながりました。また光熱費も値上がりの影響と夏の暑さの厳しさからエアコンの使用が必須となり、節約を心がけながらも予算を上回りました。

さらに週案・日誌・経過記録等の保育記録がパソコンでの管理となり、また保護者への日々の保育状況を写真入りでスマートフォンから作成する掲示板でお知らせをし、ICT化が進みました。

2 利用者支援状況

令和6年度は4月1日で0歳児が空いている状態でスタートとなりましたが夏までには定員が満たされました。また幼児クラスも4歳児のみ1名の募集で在籍数は106名となりました。

年度初めの懇談会ではおやつ試食会も同時に開催し、子どもと一緒に午後おやつを食べ、楽しいひと時を過ごしました。また希望する家庭には個人面談を行い、園・家庭でのお子さんの様子を共有しました。日々の送迎時に声かけをして保護者の方とのコミュニケーションを心がけ、信頼関係を築く努力をしました。

また6年度よりお便り等は紙ベースではなく、メールでの配信となったためお知らせなどもこまめに送り、丁寧に周知していきました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	48	50	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	589	49
女児	49	52	53	53	53	55	55	55	53	53	53	53	637	53
計	97	102	103	102	102	104	104	104	102	102	102	102	1226	102

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年	11	15	18	18	17	18	97
令和2年度	11	15	17	17	20	17	97
令和3年度	11	15	18	17	17	21	99
令和4年度	11	15	18	17	20	18	99
令和5年度	11	15	18	17	20	21	104
令和6年度	11	15	18	18	19	21	102

3 職員の状況

令和6年度は体調を崩し、退職せざるを得ない職員もあり、体制作りに苦慮しました。採用も思うように進まず、年度の後半は派遣保育士に来てもらう事となりました。体制が厳しい中でも、職員同士は声を掛け合い、協力し安全に保育できるように努めました。

またキャリアに沿って『キャリアアップ研修』にも多くの保育士が臨み、保育の質の向上や保育の振り返りを研修の中で行う事が出来ました。

職名	令和6年4月1日の 職員数					年間退職・就任											
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								就 任 計	退 任 計
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員		非 常 勤 A		非 常 勤 B					
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任				
園長	1				1												
副園長	1				1												
保育士	19			10	29	2	5				3	3	4	1	9	10	
看護師	1				1												
栄養士	3				3		1									1	
調理員	2			2	4									1		1	
事務員	1				1												
保育補助				2	2												
用務					0												
嘱託医				2	0												
計	28	0	0	14	42	2	6	0	0	3	3	4	2	9	12		

※臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

※嘱託医は職員計に含まず。

4 施設整備状況

公立からの移管より長年使用していた園舎まわりの鉄柵が錆びており、ペンキも剥がれ子どもが触れた場合、危険なため横浜市からの補助金を活用し、アルミで錆びない柵への工事を行いました。茶色で木の雰囲気を出し、落ち着いた雰囲気になっています。

そして暑さ対策として砂場のパラソル・園庭シェード設置工事を行いました。近年、夏の暑さが厳しく、千丸台保育園の特徴でもある広い園庭で十分な時間、外遊びが出来ない状況になっています。その課題を

解決したいと思い、遮熱効果のあるシートを使用した日よけで日陰を作って少しでも外遊びの時間を確保したいという思いで設置を決断しました。

また千丸台保育園の周辺は急な坂が多いため、子どもたちの乗るバギーは電動アシスト『エレゾウ』を購入し、園外活動の散歩へ出かける機会を多く作りました。



園庭周りの柵 修繕



砂場の日よけパラソル設置



園庭シェード設置



電動アシスト避難車『エレゾウ』

5 年間行事報告

4.1 入園式・進級式

4.25 子どもの日の会

5.9 歯科健診(1回目)

5.17 内科健診(1回目)

5.23 さつまいも苗植え

11.3 人形劇

11.19 焼き芋会

11.25 大根抜き

11.28 歯科健診(2回目)

12.14 お楽しみ会

6.27 じゃがいも掘り
 6.27 プール開き
 7.7 セタの会
 7.26 チャレンジわくわく会
 8.13～16 夏期合同保育
 8.23 夏まつり
 9.6 大根の種まき
 9.12 敬老の日の会
 9.13 プール納め
 9.14 ケアプラザ交流(世代間)
 10.3 内科健診(2回目)
 10.12 運動会
 10.18 園外保育(幼児)
 10.24 さつまいも掘り
 10.29 総合防災訓練
 10.30 20周年記念ワークショップ
 10.31 ハロウィン

12.19 お餅つき
 12.24 キッズ防災教室
 12.25 クリスマス会
 1.7 獅子舞(川島囃子)
 1.9 お正月遊びの会
 1.29 お店屋さんごっこ(幼児)
 2.3 節分の会
 2.18 お店屋さんごっこ(乳児)
 3.3 ひなまつりの会
 3.7 お別れ遠足(幼児)
 3.19 卒園式
 3.31 進級式

保育内容では異年齢で過ごす『縦割り週間』や週1回行なう『リズム遊び』で年下児に優しく接し、保育目標でもある思いやりの優しい心の成長がありました。また行事では幼児中心となる『運動会』『お楽しみ会』で達成感を味わい、保護者の方と子どもたちの成長を共有することが出来ました。

20周年記念製作として幼児3クラスでワークショップを行いました。絵本作家：松井しのぶさんの指導のもと、子どもたちが手型で参加し、千丸台保育園のモチーフでもある木を製作しました。たくさんの方に見ていただけるように園舎入口に飾りました。

また雨の日や暑い日に園庭や戸外遊びが出来ない時に、体を動かす事が出来る様『エアーランド』を購入し、乳児・幼児ともに安全に遊ぶ事が出来る遊具を取り入れました。



『20周年記念ワークショップ』

エアーランド

* 誕生会 毎月、月末に行う。

* 体操教室(幼児) 月2回第2・4金曜日…総合体育研究所神奈川 鈴木先生(外部講師)

* リズム遊び(幼児)週1回…広いスペース(ホール)にて異年齢で行う(3～5歳)。

* 個人面談 希望する家庭のみ、園での様子をお伝えしたり家庭での様子をお聞きしたりしました。

* 年度初めの懇談会については、おやつ試食会も同時に行い、クラスごとに開催しました。

6 健康管理

園内の感染症状況を園の入り口門に『保健のお知らせボード』を掲示し、注意喚起に努めました。また流行時には注意を促すメールを送り、全家庭にお知らせをしました。

年間を通して看護師が子どもたちに保健指導を行い、意識づけをし、日々の生活の中で実践していきました。

◎今年度、園児の健診・検査は下記の通りです。

・内科健診：年2回…5月17日(金)・10月3日(木)

・歯科健診：年2回…5月9日(木)・11月28日(木)

・視聴覚検査：対象3歳児…9月25日(水)・26日(木)・10月2日(水)

・尿検査：対象3・4・5歳児・年1回 1次回収6月24日(月)・2次回収6月28日(金)

・全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日・頭じらみの予防)

* 布団乾燥 2ヶ月に1回(奇数月)の土曜日に行いました。

* 害虫駆除 年2回…8月23日(金)・2月21日(金)に行いました。

職員は定期診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)・給食室職員は2回(6月～9月…食中毒流行の季節)(11月～3月…ノロウィルス検査をランダムで2名ずつ)を実施し、『健康チェック表』に体調を記入し、健康管理に努めました。体調が優れないときは早期に受診し、回復に努めました。

7 栄養管理

年間で栄養士が『食育計画』を立案し、年齢にあった食育指導を行いました。乳児クラスでは「フォーク・スプーン・お箸の使い方」の指導では実践を交えてわかりやすく伝えました。また幼児クラスでは「そら豆の皮むき」や「とうもろこしの皮むき」など楽しみながら体験をしました。

食材が高騰する中ではありましたが、メニューの工夫をして新しいメニューを取り入れたり給食ミーティングで意見のあった献立を改善したり子どもたちが楽しくおいしい給食が食べられるように工夫しました。



～そら豆の皮むき～



～とうもろこしの皮むき～

8 衛生管理



*おもちゃの消毒や保育室の清掃・消毒をこまめに行い、感染症拡大防止に努めました。

清掃では『ロボット掃除機』を導入し、保育室・廊下を自動で掃除をするため、職員は保育に専念でき、子どもたちと関わる時間が増えました。また今後は暑さ対策になると考えています。

9 安全管理

* 防災訓練：毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・水害・土砂・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施しました。災害時にも使用できる IP 無線機とココセコムを各クラス1台ずつ持参し、人数報告や連絡手段として活用しました。

* 新たに弾道ミサイルを想定した訓練を行い、身を守る姿勢を繰り返しの訓練で身に付けました。

* 防災設備点検を年2回(4月・10月)実施し、保土ヶ谷区消防署に書類の提出をしました。

* 怪我があった際は『アクシデントレポート』で報告をし、再発防止に向けて記録をしました。また事故には至ってはいませんが、未然に防いでいくために『インシデントレポート』の記入をしました。

10 特別保育事業の実施

◎一時保育事業

『横浜市一時預かり WEB 予約システム』で登録をしてもらい、ニーズに合わせて予約が入りました。24 時間分一時保育を無料で利用できる「はじめてのお預かり券」を使用する家庭もあり、子育ての負担軽減に繋がっていました。昨年度より助成金が上がった事で収入も増えました。

11 保護者に向けて

* 年度初めには懇談会・おやつ試食会を行いました。園生活の様子を伝え、成長を共有したり日頃のおやつを子どもたちと一緒に食べたり楽しい時間を過ごしました。

また秋に希望の家庭には「個人面談」を行い、園や家庭での様子を伝えあったり育児のアドバイスをしたり有意義な時間となりました。

ICT 化が進み、園の掲示板を使って幼児クラスの保育の様子を日々伝え、時折写真を加え、より分かりやすくしています。また園便りやお知らせはメールで送り、保護者がいつでも見て確認ができるようにしています。

12 職員・園務

* 7年以上の経験のある職員は常勤・非常勤職員共に『キャリアアップ研修』を積極的に受講し、自らの保育の振り返りと保育の質の向上に努めました。

保育活動では職員一人ひとりが子どもたちの健やかな成長のために力を注ぎ、保育目標の『思いやりのあるたくましい子に育成』の達成に向けて取り組みました。

【研修】

主 催	研 修	人 数
横浜市	医療的ケア	1 名
横浜市	キャリアアップ研修	
	＜幼児教育＞	2 名
	＜保護者支援・子育て支援＞	4 名
	＜食育・アレルギー対応＞	3 名
	＜乳児保育＞	3 名
	＜障害児保育＞	3 名
	＜保険衛生・安全対策＞	3 名
横浜市＜保健所医療局＞	食品衛生責任者実務講習会	2 名
5 区合同	接続期	1 名
保土ヶ谷区	感染症	1 名
救急法	普通救命救急 復習	30 名

13 その他

* 12月4日(水)AM 横浜市一般指導監査(施設)の為、こども青少年局監査課が来園しました。



令和6年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員120名 (在籍132名)



1 施設運営状況

はじめに

感染症も一段落しマスクをすることも最小限となり、日々の保育の中で子どもたちのいろいろな表情が見られるようになりました。各種行事の開催は多少人数制限をせざるを得ない事もありましたが、基本的にはコロナ禍前の状況に戻すことができ、各行事や保育にも活気が戻ってきたことを実感することができました。また、地域の方や入園を考えている方に保育園の事を知っていただくために、Instagramを開設し情報発信に努めました。

昨年度同様保護者の働き方も変わり、一時保育事業の利用者の低年齢化と延長保育の利用者の減少傾向が続きましたが、在園児の入所状況が安定していたことにより、延べ利用者数が増加しました。

支出の多くを占める人件費は、採用に人材派遣会社を利用し、人材紹介手数料はあったものの、在籍職員での出勤調整等による内部努力で人件費は抑えることができました。一方、昨年度同様、水道光熱費や食材費は高騰、経年劣化に伴う新たなリース契約によるリース料金の増額、安全な保育を保つためのパーティションや畳マットの購入はありましたが、全体的には安定した収入を得ることができたため、一定額の積み立てをすることもできました。

2 利用者支援状況

園生活も看護師中心にいろいろな感染症に対しての防止対策に努めながら安全・安心の運営に努めました。

〇より良い保育に向けて

保育目標だけではなく、園、各クラス、そして職員一人ひとりが目標を掲げ、定期的に自分たちの保育を振り返り、新しい知識を習得するために、研修を積極的に受け、他の職員にも周知することに努めるなど、丁寧な保育を心掛けました。そして、子どもたちが楽しく、保護者の方々にも安心して預けていただけるよう努めました。

大きな行事後のアンケートや保護者アンケートを実施することで、保護者のニーズの把握や自分たちの保育を振り返るなど、質の維持・向上に努めました。

〇園行事・地域との連携について

- ・地域のお祭り（平沼水天宮例大祭）に幼児クラスの子どもたちが参加しました。
近隣保育園・地域の子どもたちとお神輿を担ぎお土産をいただきました。
- ・MMまつりは地域の方にも参加の周知を行い、多くの保護者の方々に参観・参加していただきました。
- ・大きな行事に関しては今年度もZoom配信等も利用し遠方の祖父母の方にも

観ていただき、好評なご意見を多くいただきました。

- ・卒園児保護者と協力し開催している「ニコニコバザー」も2度目となり、在園児だけではなく、地域の商業施設等にもポスターを貼っていただき、地域の方にも周知し来場者向上に努めました。収益金はこども医療センターへの寄付と、バザーで残った商品を「古着でワクチンプロジェクト」に送り20人分のワクチンに協力することができました。
- ・未就園児対象に行ってきた地域交流保育も低年齢化に合わせ、「1歳児と遊ぼう」と年齢を下げて企画しましたが、参加者が居なかったので、周知の方法を考えていきたいと思います。

○一時保育について

感染症が緩和されるにつれ利用希望者が増えましたが、多くの方が0歳児という事もあり在園児クラスの受け入れでは希望に添えないため、安全を確保しつつ一時保育室での受け入れも積極的に行い受け入れの増員に努めました。

○保育士養成校の保育実習、中高生のボランティアの受け入れについて

近隣にあった保育士養成校も縮小・閉校となり、受け入れる実習生の数も減少してきました。次世代を育てるためにも養成校と密に情報交換しながら、今後も積極的に受け入れていきたいと思えます。

○幼保小連携・配慮児支援について

配慮・援助を要する子どもたちに関しては中部・東部療育センターと民間の支援施設を併用する家庭も増え、園での様子を第三者の目を見ていただき家庭・保育園・支援施設で情報共有しながら、子どもたちの支援に努めてきました。

幼保小連携は学区である平沼小学校を中心に子どもたちの交流や西区主催の担当職員同士の情報交換にも積極的に参加しました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男児	65	66	66	65	65	65	65	65	65	65	63	63
女児	69	69	69	70	70	70	70	70	69	68	68	69
計	134	135	135	135	135	135	135	135	134	133	131	132

【利用者状況推移】

（各年度3

月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	20	22	23	19	23	23	130
令和2年度	20	22	23	23	22	22	132
令和3年度	19	21	23	23	22	21	129
令和4年度	20	22	23	23	24	23	135
令和5年度	20	22	23	23	23	22	133
令和6年度	20	22	23	22	22	23	132

3 職員の状況

産休・育休取得者に加え、休職者も出たため、職員採用に努めてきましたが、採用に結びつかない状況でした。休職者においては定期的に産業医と面談し、短時間勤務や固定勤務をすることによって、スムーズに復職できるよう支援しました。

職 名	令和6年4月1日 の職員数					年間退任・就任										令和7年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算		
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任											
園 長	1				1											1					1	1.0
副園長					0																	
保育士	31		4	5	40	1					1	1	2	2	3	34		2	7	3.6	47	39.6
看護師	1				1											1					1	1.0
栄養士	4				4											4					4	4.0
調理員	2		1	1	4											2		1	1	0.3	4.3	3.3
事務員	1				1											1					1	1.0
保育補助			1	1	2								1		1						0	0.0
嘱託医				2	2													2			2	
産業医				1	1													1			1	
計	40	0	6	10	56	1	0	0	0	0	1	1	3	2	4	43	0	3	11	3.9	61	49.9

※ 非常勤職員の内非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より

短い労働時間で雇入れられた時間給職員です。

※嘱託医・産業医は職員計に含まず

4 施設整備状況

- * 経年劣化に伴い、給食室の冷凍庫、冷蔵庫、食器保管庫、まな板・包丁消毒保管庫を新規リース契約し、入れ替えを行いました。
- * 0歳児クラスにパーテーションを設置しました。
- * 3歳児クラスと一時保育室の畳マットを新しいものに入れ替えました。

5 年間行事報告

月 日	行 事 名	月 日	行 事 名
4月1日	第17回 入園式	10月18日	秋の園外保育（幼児）
4月26日	こどもの日を祝う会	10月31日	わいわい仮装パーティー
	誕生会（毎月）	※	保育参観週間（全クラス）
	避難訓練（毎月）	11月11日	1歳児とあそぼう会（地域交流保育）
	懇談会（各クラス）	12月9日	第17回生活発表会（3部制開催）
※	おはなし会（2～5歳児）月1回	12月13日	もちつき会
※	体育指導（3～5歳児）月2回	12月20日	お楽しみ会
※	英語指導（2～5歳児）月1回	※	手洗い指導（3～5歳児）
5月17日	春の園外保育（幼児）	1月7日	お正月遊びの会
5月18日	開園記念日（17周年）	1月10日	繭玉団子作り（2～5歳児）
5月24日	MMまつり	1月17日	ジャグリング
※	園児内科健診（全園児年2回）		懇談会・おやつ試食会
※	尿検査（幼児）		1月～2月 クラス毎で実施
6月11日	プール開き	1月28日	いのちの授業（5歳児）
6月18日	歯科健診	※	ダンス（0～5）月1回
※	保育参観・試食会（各クラス）	2月3日	節分会
※	歯磨き指導	2月4日	制作遊びの会
6月 21～22日	お泊り保育（5歳児）	2月21日	お別れ遠足（5歳児親子）
7月5日	七夕会	2月22日	令和7年度入所決定者入園説明会
8月30日	プール納め	3月3日	ひなまつり会
9月2日	総合防災訓練	3月11日	お別れ会
9月4日	平沼水天宮例大祭こども神輿	3月15日	第17回卒園式・ありがとうの会
9月13日	おじいちゃんおばあちゃんあり がとうの会	3月31日	進級式
10月5日	第17回運動会		

6 健康管理

入園する際、看護師が作成した「健康と安全のためのお知らせ」と「子どもの睡眠が成長に与える影響」の冊子を配布し、保護者とともに健康管理ができるように努めました。また、普段から登園時には手洗いの曲をホールに流して親子で手洗いをしてから保育室に入るなど感染症対策の意識づけは行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受け看護師による「咳エチケット」や「手洗い指導」を行い更なる意識づけを行いました。

- ・園児（年2回）・職員（年1回）の定期健診及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。
- ・給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施しました。（11月～3月）
- ・職員のインフルエンザ予防接種・新型コロナワクチン接種の実施
- ・看護師からのお知らせボードに感染症の状況等を掲示し、保護者への情報発信を行いました。

- ・健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

＜産業医の選任＞

産業医を選任し、安全衛生委員会を毎月一回開催し職員の残業時間や年休取得率の確認や職場巡視を行い別の視点で安全な職場環境作りや改善に努めました。

また、休職中の職員との面談等行っていただくことで、スムーズな仕事復帰に繋がりました。

7 栄養管理

給食目標 <おいしく たのしく げんきになろう>

- * 子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）・成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施
- * 3歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供
- * アレルギー児へは生活管理指導票に基づきの除去食の提供
また、アレルギー児を持つ保護者には誤食を防ぐためにダブルチェックとし、次月の献立会議後、献立表の確認及び確認印をいただくようにしました。
- * 離乳食、給食、おやつ、捕食、夕食は事務所前のサンプルケースに基準量で展示し、保護者にも伝わりやすいようにし、毎月の給食だよりには人気給食のレシピ掲載
- * 毎月、郷土料理を取り入れ、由来やレシピも記載していきました。
- * 捕食・夕食に関しては除去食で献立を作成することで、アレルギー児の捕食・夕食の希望が出ても対応できるようにしました。
- * 離乳食に関しては園で使用する食材表を保護者と確認しながら個々の成長に合わせて進めていくようにしました。
- * 節々の行事では行事食が提供され、子どもたちもとても喜んで食べています。また、今年度は給食やおやつを試食会を行うことができ、保護者の方も喜んでいました。
また、子どもたちがより食に興味を持てるようにプランター栽培等を通して食育活動を続けました。



8 衛生管理

- * 保育室
 - ・クローラ水やアルコールを使用し掃除や消毒に努めました。
 - ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し二次感染の防止に努めました。
 - ・各クラスに除菌 BOX を設置し玩具の消毒に努めました。
- * 給食室
 - ・衛生チェック表に基づき日々衛生・確認に努めました。
 - ・食器洗浄後、熱風庫にて保管
 - ・食材の原材料・調理済み食品の保管（2週間）
- * 施設
 - ・年間2回の害虫駆除（6月・12月）を行いました。

9 安全管理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来ました。また、普段のお散歩（園外保育）の際にも交通ルールの確認を行うことで、子どもたちにも意識できるようにしました。年長児には別途就学前に、交通安全教室を行い、安全に通学できるよう指導を受けました。
- ・防犯訓練、毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施し、西消防署の方に実際の訓練を見ていただき改善点やアドバイスをいただくことで職員も訓練の内容等を確認することができた。また、近年大きな地震が続いているため、起震車体験を行い、改めてまずは、しっかり身の安全を確保しなければならない大切さを再認識した。
- ・安全計画、消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保・保管場所や備蓄品の内容を全職員が把握できるよう努めました。
- ・安全チェックシートに基づき、各保育室・園庭・ホール・等の安全点検を月に1度行いました。
- ・自主点検表に基づき閉園時の安全確認を行いました。
- ・災害時の際、より確実に連絡体制が取れるようIP無線を普段の園外保育の際にも携帯し、各職員が使用できるように努めました。
- ・災害時に通常のミルクを提供できないことを想定し液体ミルクを常備し、0歳児クラスで入園される家庭には入園前の説明会に試食品を各家庭に配布し入園前に試していただくようお願いしました。
- ・日々の園外保育では安全な散歩ルートを乳児用・幼児用で作成し、その基本ルートを外れる際は連絡を入れる、ポイントごとでの人数確認をしっかり行う。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>

年度	延べ利用児童数（人）	助成額（円）
令和元年度	2,309	12,472,160
令和2年度	1,222	6,876,180
令和3年度	1,734	9,122,840
令和4年度	1,731	9,211,020
令和5年度	2,068	14,710,262
令和6年度	2,413	21,921,240

感染症の緩和と共に一時保育の利用者が増えてきました。

低年齢（0歳児）の利用希望が多い為、昨年度までは生後6か月からのからの受け入れを生後5か月からの受け入れ枠を広げましたが、5か月での希望はいみせんでしたが、利用者数は増えました。

<地域子育て支援事業>

- * 園庭開放：月～金 10：30～15：00 （夏季は水遊びも可）
- * 貸し出し図書：月～木
- * 育児相談：月～金 10：30～15：00
- * 西区第5地区の園長たちで地域の方の赤ちゃん会に参加させていただき、育児相談や園の紹介等行いました。

< 障がい児保育事業>

- * 障害児認定のこどもについては、加配の職員を配置し、支援が必要な子どもに関しては関係機関・保護者の方と連携をとりながら、他の子どもたちとの生活を通して、ともにできるよう保育支援を行いました。

<療育相談・巡回相談>

- * 中部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深めるとともに、全職員で同じ対応ができるように内容を共有した。

< 延長保育事業>

- * 認定区分に応じた保育時間を外れる場合、必要に応じて保育支援を行いました。夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

< 産休明け保育>

- * 生後 57 日からの受け入れを行い、入園後園医による産明け児健診も行いました。

<外部講師による支援事業>

- * 体育指導：3～5 歳児 年間 20 回
- * 英語指導：2～5 歳児 月 1 回
- * 習字指導：5 歳児 月 1 回
- * ダンス ：0～5 歳児 月 1 回
- * 読み聞かせ：2～5 歳児 月 1 回

11 保護者に向けて

- ・園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりをメール配信することで、保護者がお知らせ等を確認しやすいようにしました。
- ・育児講座の開催（昨年度に続き「しめ縄体験」を行い、お正月飾りを作りました。）
- ・各種行事へのお誘い
- ・第三者委員の設置
- ・保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施
- ・新入園に向けての入園説明会の実施
- ・懇談会の開催や保育参観、保育参観週間を設け、保育を観ていただく機会を多く設けた。



12 職員・園務

- ・有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めること、地域の方との結びつきに努めました。
- ・地域出前講座への参加
- ・幼保小交流を通して、子どもの育ちの連続性のために、大人の顔が見える関係作りにも努めました。
- ・自治会行事への参加
- ・西区園長会・子育て支援会議に参加し、情報共有や地域連携に努めました。

- ・西区の子育て支援施設の共通目標である「にこやかに目をかけ手をかけ心かけ」の標語や子育てのヒントの冊子を未就園児の保護者へ配布しました。
- ・西区社会福祉協議会主催の児童分科会に参加し、情報共有や地域連携に努めました。
- ・職員の研修はキャリアアップ研修中心でしたが、参加者が研修で得た知識は園内で伝え合い、園全体の資質の向上に努めました。職員との会話の中から自園の課題を把握し、職員と共に改善に努めました。そして、必要に応じてセルフチェックやチェックリストを行うことで、職員一人ひとりに問題を投げかけ、一緒に考えていくことで、保育の質の維持・向上に努めました。
- ・保護者の方には、保護者アンケートの結果から課題を見つけ保育の質の改善につなげるように努めました。

13 その他

令和6年度 研修実施記録

主 催	内 容	人 数
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対応講座Ⅰ 保護者との関係で生じる問題とその対応に必要なスキル	1
横浜みなとみらい保育園	CPR研修	44名(正職・非常勤含む) 指導員2名・看護師
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座 保育所における事故防止	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対応講座Ⅰ カウンセリングの基本的な知識と援助モデル	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座 慢性疾患	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対応講座Ⅰ カウンセリング演習Ⅰ(態度・傾聴・共感・質問)	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援講座 あなたも私もサポーター～インクルーシブな園を目指して	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育講座 乳児の特性とアタッチメント	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対応講座Ⅰ カウンセリング演習Ⅱ(焦点化・明確化・解決に向けての方向づけ)	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育講座 アタッチメントと保育者の役割	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座 保健計画の作成と活用	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援講座 現代における家庭のあり方について考える・ 児童虐待の基礎的理解	1

白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対応講座Ⅰ 事例検討と振り返り	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育講座 乳児の発達特徴	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育講座 主体性を育む アクティブ・ラーニング	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援講座 当たり前が難しい時代の保護者支援・子育て 支援	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育講座 乳児の遊びと環境	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育講座 子どものからだと心	1
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係	看護師等研修	1
横浜市私立保育園こども園園長会	神奈川県保育士等エキスパート研修 幼児教育	2
横浜市私立保育園こども園園長会	神奈川県保育士等エキスパート研修 乳児保育	3
横浜市私立保育園こども園園長会	神奈川県保育士等エキスパート研修 障害児保育	3
横浜市私立保育園こども園園長会	神奈川県保育士等エキスパート研修 食育・アレルギー対応	5
横浜市私立保育園こども園園長会	神奈川県保育士等エキスパート研修 保護者支援・子育て支援	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育講座 こども主体の乳児保育とは	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援講座 園における気になる子どもへの対応	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座 乳幼児の感染症対策	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育講座 幼児の発達特徴	1
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 幼保小連携係	幼保小接続期研修会	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援講座 地域に根差した子育て支援について	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座 乳幼児救急法	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育講座 幼児教育と学校教育とのなめらかな接続	1
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係	保育士等キャリアアップ研修 乳児保育分野	1

横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育分野	1
横浜市こども青少年局	衛生管理研修	6
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 幼児教育講座 3歳・4歳・5歳の子ども理解と保育内容	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応講座 食物アレルギーの理解と予防	1
株式会社ポピンズプロフェッショナル	神奈川県保育エキスパート等研修 乳児保育	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応講座 食物アレルギーの食事と管理	1
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応分野	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応講座 子どもの心と体を育む食生活	1
横浜みなとみらい保育園	CPR研修	44名(正職・非常勤含む) 指導員2名・看護師
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 人材育成係	保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援分野	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応講座 栄養に関する基礎知識	1
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士等キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応講座 保育所における食事の提供 ～食育計画の作成と活用～	1
株式会社ポピンズプロフェッショナル	神奈川県保育エキスパート等研修 食育・アレルギー	2
株式会社ポピンズプロフェッショナル	神奈川県保育エキスパート等研修 乳児保育	2
横浜みなとみらい保育園	アレルギー研修 動画視聴+エビイベントレーナー みなと赤十字病院作成	44名(正職・非常勤含む)
横浜市西福祉保健センター	給食施設栄養管理研修会 給食施設における災害時の栄養管理	1
横浜市西福祉保健センター	西区食育推進会議研修会 災害への備え	1

・横浜市一般指導監査：今年度は対象外とのことで資料のみ提出しました。



令和6年度 玉川保育園 事業報告

玉川保育園 定員135名 (在籍 135名)

1 施設運営状況

少子化が一層進行する中、子どもへの虐待や社会的孤立等、生活困窮等に起因する子育て家庭の顕在化など、子どもを取り巻く環境は非常に厳しくなっています。

保育の在り方、あるべき保育の姿の具体化など、質の高い園経営・運営に努めました。地域に開かれた保育所に課せられた役割の一つとして、自園の子育て支援だけでなく、地域保育園との連携や専門職として、子育て支援を積極的に実施し、保育の充実を果たしました。子育て世代向けに、ワンコイン「親子でランチ」を実施し、参加者に好評で年度途中に定員増し対応をしました。

法人の重点目標である職員の資質の向上への取り組みに力をいれ、保育の中での課題を保育実践に沿った研修やミーティングの充実した取り組みを行い、振り返り、課題を抽出し、職員の専門性の向上、人間関係の構築の目標達成に努めました。

2 利用者支援状況

川崎市は就学前児童が減少傾向にあり、保育所等の利用希望者数は増加幅が鈍化している為、保育受け入れ枠が不足しています。保育受け入れ枠の確保に向けた対応が難しくなり、受け入れ枠に空きのある施設が、増加している等、川崎市の保育・幼児教育を取り巻く環境は転換期を迎えています。

児童の入所状況については4月・5月で転勤や市外に転居で在園児が130名迄少なくなりました。5月に市外からの転居で定員が一杯となりましたが年度末に海外・市外転居児がありました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

R6														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	76	73	75	75	75	74	74	74	75	75	75	74	895	74.5
女児	57	57	60	60	60	60	60	60	60	60	59	59	712	59.3
計	133	130	135	135	135	134	134	134	135	135	134	133	1607	133.9

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和2年度	9	23	25	26	26	26	135
令和3年度	9	23	25	25	26	26	134
令和4年度	9	24	25	26	26	26	136
令和5年度	9	24	25	26	25	26	135
令和6年度	9	24	24	26	25	26	133

【延長利用状況】

延長													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	188	199	196	219	154	159	186	204	176	161	160	209	2211

3 職員の状況

職員の雇用状況は、療休が開け勤務に戻る職員が2名おりましたが、産休に入る職員が2名おり、シフト対応に苦慮しました。

職 名	令和6年4月1日の職員数					年間退任・就任											
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								就 任 計	退 任 計
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員		非 常 勤 A		非 常 勤 B					
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任				
園 長	1				1												
保育士	21		3	6	30	2								1	2	1	
看護師	1				1												
栄養士	3			1	4												
調理員	2			1	3	1									1		
事務員	1				1												
保育補助				2	2												
用 務				2	2												
嘱託医				2													
計	29	0	3	14	44	3	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	

臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。※嘱託医は職員計に含めず

4 施設整備状況

開所から13年が経ち、給食室の設備関係等、少しずつ経年劣化してきています。スチームコンベクション、食器洗浄機のスチームや水漏れがあり、保守の中でメンテナンスや修理をしていましたが、新しい物をリース契約で導入しました。

また、子どもが使用している立ち便器の水を流すボタンの内部が壊れ交換工事をしました。

5 年間行事報告

4月12日	はじめまして集会	12月14日	チャイルドフェスティバル
4月20日	保育説明会・保護者会総会	12月18日	おもちつき
5月1日	子どもの日集会	12月23日	人形劇
5月11日	0～5歳児懇談会	12月25日	クリスマスバイキング
6月5日	プール前健診	1月6日	お正月遊びの会
6月13日	歯科健診	1月7日	獅子舞
6月28日	水遊び開き	1月18日	5歳児懇談会
7月5日	七夕集会	1月23日	平間中学校職業体験
7月6日	なつまつり	1月28日	交通安全教室
8月30日	5歳児夕涼み会	2月3日	節分の会
9月2日	総合防災訓練・引き取り訓練	2月12日	入園前健診
10月12日	第13回運動会	2月15日	0～4歳児懇談会 一時保育・保育説明会
10月30日	移動動物園	3月3日	ひなまつり会
11月1日	幼児バス遠足	3月8日	第13回卒園式
11月9日	親子で遊ぼう会	3月14日	お別れ遠足
11月18日	年長交流会	3月28日	進級式・お別れ会

☆体操教室 月2回 ☆おはなし会 年10回 ☆太鼓指導 年10回 ☆年長交流会 年2回

☆ゆうらく交流 年2回 ☆保育参観・保育参加全家庭

6 健康管理

○入所時、新年度は予防接種歴、感染症罹患歴、乳幼児健診受診状況と結果、体質やアレルギーの有無等の健康調査を行い、健康面における園生活での配慮事項を家庭と園で連携し対応しました。

○全園児、独立行政法人日本スポーツセンターの災害共済給制度に保護者の同意を確認し、加入手続きをしました。

○園医による定期健康診断を0～1歳児クラスは2か月に1回、2～5歳児クラスは年2回実施しました。

- 園医による年2回の歯科検診を実施しました。
- 予防接種については、川崎市から保護者宛ての「予防接種のすすめ」という配布文書とともに重要性について、入園説明会や保育説明会、懇談会、ほけんだよりを通して啓発しました。
- 月1回ほけんだよりを発行し、健康情報を発信しました。
- 除去食・与薬等の対応が必要な園児において、川崎市保育所入所児童等健康管理委員会への申請を必要時と定期（年1回）で実施しました。
- 月1回身体測定を行い、身長体重曲線を参考に評価し、バランスにおいて逸脱がみられる場合は園医や栄養士、保育士と連携して対応しました。
- 保育園サーベイランスシステムを活用し、感染症発生状況を早期に探知・共有し、対策を講じることで子ども達の健康被害の発生を最小限にすることに努めました。
- 感染症の流行や集団発生時には、直ちに川崎市保育課、中原区保育子育て総合支援センターおよび衛生課、園医と連携し、感染症拡大・蔓延防止に努めました。3件（手足口病・伝染性紅斑・アタマジラミ）の集団発生があり、発生報告と最終報告をしました。
- 流行性疾患発生時は個人情報に配慮しながら、発生とその状況をすみやかに保護者に周知しました。
- 毎週月曜日に頭髪検査、爪のチェックを行い、アタマジラミの早期発見と対応、ひっかき等による怪我防止に努めました。
- 夏季は暑さ指数や光化学スモッグ注意報の発令状況を参考に、紫外線対策、熱中症対策について指導を行いました。
- 保育中の急な体調変化も家庭と連携をとり対応しました。また、怪我等については園で応急手当をし、必要場合は医療機関を受診して対応しました。医療機関を受診した場合は、川崎市保育課に速やかに事故発生報告書を提出しました。
- 日本スポーツ振興センターの災害共済給付について、対象となった事故においては保護者に説明を行いました。申請されたご家庭は1件で、所定の手続きを実施し、給付金が支払われました。
- 年間計画に沿って保健指導を実施しました。
- 保護者からの健康相談について随時対応しました。
- 地域子育て支援事業の「たんぽぽひろば」で健康講座や健康相談を実施しました。
- 地域子育て支援事業の「おひさまひろば」で身体測定や健康相談を実施しました。
- 地域子育て支援事業の新たな取り組みとして「親子でランチ」を企画し、栄養士、保育士と連携して8回実施しました。地域の子育て家庭に保育園給食を通じて、健全な食生活につながるよう啓発活動を行いました。
- 入園前健診を園医と連携し、実施しました。
- 継続的によりよい保健活動への改善につなげるため、期ごとに評価し、取り組むようにしました。
- 全職員年1回の定期健康診断を受診しました。
- がん検診、婦人科検診、骨密度検査等の普及啓発を行い、職員の健康保持増進に努めました。

- 職員の予防接種状況や既往の確認、希望に応じて健康相談を実施しました。
- 「川崎市保育施設における食物アレルギー対応マニュアル（2024年改定版）」が改定され、職員に内容周知し、改定内容に沿って一部の対応を修正、改善を行いました。
- 「川崎市保育施設健康管理マニュアル（令和6年12月）」が全面改訂され、職員に内容周知し、改定内容に沿って一部の対応を修正、改善を行いました。
- 中原区子どもの健康と安全連絡会に参加（全2回）し、健康・安全について近隣保育園と情報交換及び情報共有をしました。

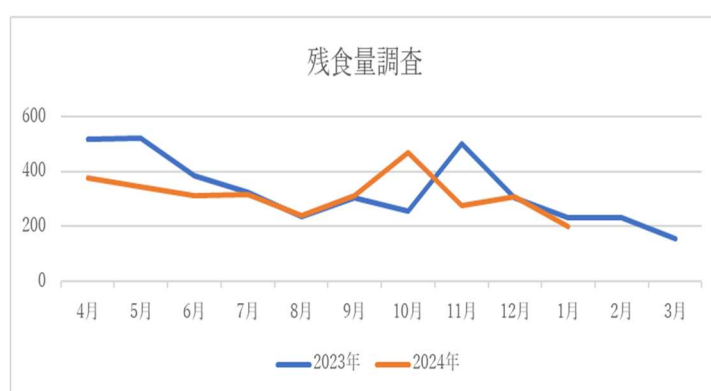
7 衛生管理

- 施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を実施しました。
- 年1回の布団乾燥を実施しました。
- 玄関、各保育室（「入口」削除）にアルコール手指消毒を設置し、手指衛生の徹底に努めました。
- 日常的に整理、整頓、清掃、環境整備を徹底し、健康管理マニュアルに沿った適切な消毒を行い、二次感染の防止に努めました。
- 嘔吐物処理研修を職員に行い、適切な処理による感染の拡大防止に努めました。
- 保育室は温度計、湿度計で室内環境をチェックし、空調の調整、換気と通風を保つなどの管理をしました。
- 各保育室に空気清浄機、加湿器を設置し、望ましい環境が保持できるように努めました。
- 全職員毎月腸内細菌検査を実施しました。
- 給食室職員は細菌による食中毒が増加する6～9月は月2回腸内細菌検査を実施し、ノロウイルスによる食中毒が増加する11～3月は月1回2名の職員を抽出し、ノロウイルス検査を実施しました。

9 栄養管理

- 「食育計画」をもとに、栄養士・看護師・保育士が連携を図り食育活動を実施しました。
- 「献立年間計画」をもとに、アレルギーフリーの献立作成を実施しました。
- 年2回の給与栄養量の見直し作成しました。
- 災害時非常食の見直しを実施しました。
- 0歳児クラス離乳食ノートを活用し保護者との連携に努めました
- 0歳児離乳食食材チェック表を見直し作成しました。
- 0歳児クラス・一時保育の粉ミルク受払簿を作成し管理に努めました。
- 調乳マニュアルの見直し、調乳従事者衛生管理チェック表を作成し衛生管理に努めました。
- 保育参観を通して、保護者に保育園給食を食べてもらう機会を実施しました。
- 大量調理マニュアル・HACCPに沿った衛生管理を実施しました。
- おうちえん動画を活用し食育活動の様子を配信しました。

- 誤飲事故防止の為、家庭よりお弁当持参時のおやくそく動画を作成し配信しました。
- SDGS活動の取り組みとして園で収穫した夏みかんジャム作りを実施しました。
- SDGS活動の組みとして給食の残食計量を行い園児に食物の感謝を育む活動を実施しました。
- 就学に向けた給食の配膳活動を実施しました。
- 就学に向け小学校給食の牛乳用プラスチックストロー削減について知り、園児にストローを使用せずに牛乳を飲む・牛乳パックを開ける・たたむ体験を実施しました。
- 子育て支援として親子でランチを新規事業とし実施し、保育園給食を通して「食べることの大切さ」を発信し子育ての力の向上に繋げることが出来ました。
- 専門リーダー食育アレルギーグループによる、保護者へ朝食アンケートを取り、朝食の大切さを発信しました。



○幼児クラスを中心に残食量を計量し、SDGS活動を行った結果見えてきたこと。

- ・園児たちの食べる意欲の向上
- ・嫌いな食材でも一口は食べてみる
- ・完食することへの達成感
- ・食材・料理を作ってくれた人への感謝の気持ちの育み

○食育・クッキング活動

- ・動画での食育活動を実施しました。

(魚の食べ方、お箸の持ち方、お月見団子の由来、和食の話、おせち料理の由来、餅つきの由来、春の七草の話、大豆の話、給食を食べる時のおやくそくの話)

- ・旬の野菜、そら豆・とうもろこしの皮むき体験・菜園収穫
- ・梅シロップづくり、包丁の使い方、カレー作り、夏みかんジャム作り
- ・旬の食材栄養、地産地消の梨
- ・お月見団子、米の成長、おせち料理、春の七草、大豆の話
- ・行事食、バイキング会食を実施しました。

幼児クラスを中心に残食量を計量し、SDGS活動を行った結果見えてきたこと。

- ・園児たちの食べる意欲向上
- ・嫌いな食べ物でも食べてみる
- ・完食することへの達成感
- ・食材・作ってくれた人への感謝の気持ちの育み

○食育、クッキング活動を実施しました。

- ・動画での食育活動

(魚の食べ方、お箸の持ち方、餅つき由来)

- ・ そら豆、とうもろこしの皮むき
- ・ 年長児クラス給食の米を研ぐ活動(米研ぎ週間) ・ 梅シロップ作り、包丁の使い方、お泊まり保育カレー作り、夏みかんジャム



10 衛生管理

- 施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を実施しました。
- 布団交換年度の為、3月に布団交換を実施しました。
- 玄関、各保育室入口にアルコール手指消毒を設置し、手指衛生の徹底に努めました。
- 日常的に整理、整頓、清掃、環境整備を徹底し、健康管理マニュアルに沿った適切な消毒を行い、二次感染の防止に努めました。
- 嘔吐物処理研修を職員に行い、適切な処理による感染の拡大防止に努めました。
- 保育室は温度計、湿度計で室内環境をチェックし、空調の調整、換気と通風を保つなどの管理をしました。
- 各保育室に空気清浄機、加湿器を設置し、望ましい環境が保持できるように努めました。
- 全職員毎月腸内細菌検査を実施しました。

○給食室職員は細菌による食中毒が増加する6～9月は月2回腸内細菌検査を実施し、ノロウイルスによる食中毒が増加する11～3月は月1回2名の職員を抽出し、ノロウイルス検査を実施しました。

11 安全管理

○安全計画・事業継続計画に沿った、避難訓練実施計画を立案し実施しました。

○安全点検、マニュアルや手引き、児童保護者に対する安全指導や訓練・再発防止策の徹底等を明確化し、玉川保育園の安全計画を保育説明会で保護者に周知徹底をしました。また、行事の際、災害発生時の避難経路の確認を保護者に周知しました。

○毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施し9月の防災訓練は降園時に引き取り訓練を実施しました。また、地域の保育園と合同で災害時避難場所の玉川小学校へ

○かながわシェイクアウト（一斉防災行動訓練）参加を実施しました。

○園舎・園庭の月1回の安全点検を実施しました。

○災害時の非常食の献立組み合わせを作成し、手順など災害時に迅速に動けるようにしました。

○交通安全教室を地域保育園との合同で実施しました。

○応急手当（心肺蘇生法・窒息時の対応等）の職員研修を実施しました。

○水の事故予防の為、水遊びの際には監視員の設置をして安全を確保し実施しました。

○SIDS予防のため、午睡時のうつぶせ寝の危険性や午睡チェックと職員研修を実施しました。

○I P無線機を使用した大規模災害時の本部への連絡や園外保育・避難訓練の連絡、安全確認等を実施しました。

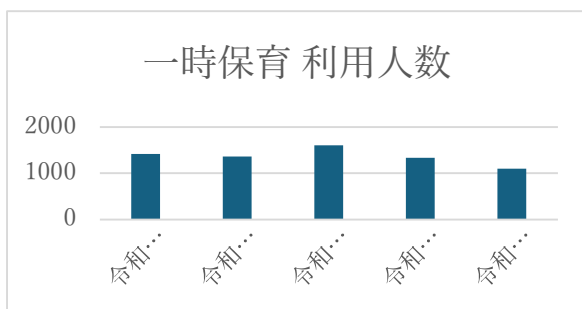
○事故発生報告で事故の検証をし、検証結果・今後の対策や改善点等、再発防止の会議を実施して職員全体に周知しました。また、日々のヒヤリハットを書き出し職員全体で確認しました。

年度末には事故の分析表を作成して、事故の起こりやすい年齢、場所、時間、受傷部位等次年度の事故防止意識を職員で確認しました。

○保健・安全衛生グループは事例を通したCPR研修を行い、救急時の動きを実際に保育の中で確認しました。

・令和6年度の事故報告集計結果を年度末の職員会議で検証結果を職員に周知し、重大事故の発生を防ぐためには各々の危機管理を高めることや、日々の安全対策が大切であることを再確認しました。

12 特別保育事業の実施



<一時保育事業>

年間を通して緊急一時・非定利用で延べ人数人の利用が1,097人ありました。

令和6年度は一時保育の利用者の安定した利用に苦慮しました。中原区一時保育実施園は全体的に保育園や幼稚園に入る前の0・1歳児の利用や3歳児の幼稚園のプ

レに移行する方の利用者でした。令和6年度の利用者が令和7年度4月の入所に結びついて、一時保育の利用者確保にも力を入れて取り組みました。

<地域活動事業>

- ・おひさまひろば月1回第一火曜日開催、たんぽぽひろば年2回連続3回開催をしました。
おひさまひろば 延べ57組、たんぽぽひろば 30組の親子の利用がありました。
- ・親子でランチは地域の親子のニーズが高く活動が地域に定着しました。
- ・ゆうらくの高年齢者との交流は5歳児和太鼓演奏や4歳児は歌や手遊びで高齢者との交流を深めました。
- ・園庭開放・貸し出し図書の取り組みは地域親子だけではなく、近隣の園庭の無い認可外保育園にも園庭を開放し、園児との交流を深めました。

<障害児保育事業>

- ・2歳児軽度1名、4歳児軽度1名、5歳児中度1名の受け入れを実施。関係機関、家庭と連携をとり、個別の指導計画を立て保育を進めました。

<その他>

- ・平間中学校職業体験で学生の受け入れや玉川小学校町探検小学生5名の受け入れをしました。

12 保護者に向けて

- ・園たより・ほけんたより・給食たより・クラスだよりの発行しました。
- ・年間を通して、保育参加・保育参観の実施をしました。
- ・年度末の保護者アンケートの実施し、保護者の意見・要望等収集し、次年度の課題等、職員に周知徹底しました。ご意見の中には、生活の中の着替えやトイレの時のプライベートゾーンの配慮に対する意見もあり、園として、しっかり対応をしました。
- ・おうちえんの動画でお子さんの様子を配信し、一人ひとりの保育園での様子が見られ、保護者の方にも好評でした。
- ・ペットボトルの蓋の改修は、園全体の取り組みとして回収が定着しています。

13 職員・園務

学年リーダーMT・10分間ミーティングの実施や人権擁護のセルフチェックの実施や子どもたちが自分を大切にする心の育ちへの取り組みを実施しました。園児へのプライベートゾーンの意識付けや伝え方、配慮等を実施し、乳児のトイレにカーテンを付け個人のプライバシーが守れるようにし、2階保育室は子どもが着替えるときはカーテンを閉め対応をしました。3～5歳児は男女別にするなど配慮をしました。

人権擁護・不適切な保育を未然に防ぐために全国保育士会「人権擁護のセルフチェック」を活用し、「子どもの人権擁護」の視点から保育の振り返りを実施しました

園内・園外研修計画の実施や専門・分野別リーダーが実際の保育の中での課題を保育実践に沿った研修と取り組みを実施しました。食育アレルギーリーダーは保護者に「朝ごはんを食べていますか」アンケートを実施し、まとめと振り返りを保護者に周知し、食事の大切さを伝えました。

○職務別リーダーの取り組み

食育・アレルギーリーダーの取り組みで、保育園児は働く保護者たちで朝ごはんをどんなものを食べているか現状調査をして「朝ごはんの大切さ」を伝えたいと保護者アンケートを実施し取り組みをしました。

保育園 朝食アンケート調査結果 回答数 96 件

- ・子どもさんは毎日食べている家庭の回答数が多かった。
- ・食べない理由として、子どもが食べたがらないからという回答もあった。
- ・朝ごはんはパンがご飯よりも回答数が多く、パン・果物・牛乳の組み合わせが多いと感じた。

おかずの回答数が主食のパン・ご飯と比例していない為、主食単体+果物・牛乳の組み合わせが多いと感じました。朝ごはんの食べる時間は10分～20分が全体の5割 20分～30分が3割という結果が多かった。

＜アンケート結果を踏まえて＞

今回のアンケート結果から多くの家庭が朝食を食べているという回答数だった。成長期の子どもにとって朝食は大切なので、「食べる力」を育むことができるよう今後も、ご家庭と連携して食に関する情報共有を進めていきたいと感じた。今回のアンケートは初めての取り組みであったが、貴重な結果となり、食の大切さを発信していきたいと思った。

アンケート結果と考察はおうちえんで全家庭に配信し、給食室前に簡単にできる栄養アップのレシピ等掲示し食への関心を伝えることができました。保護者からも栄養アップのおにぎりは「こんな簡単なやり方があるのですね」「子どもたちも美味しいと食べてくれました」と好評でした。



食べ合わせで栄養UP！



作り置きOK！忙しい朝におにぎり1個！



鮭×ひじき

鮭のビタミンDとひじきのカルシウムと一緒に食べるとカルシウムの吸収率がUP！



ピーマン×卵

卵がピーマンの苦みを緩和してくれるので相性ばっちり！



ツナ×チーズ

強い骨を作り、精神安定作用もあり！
(ブロッコリーや小松菜を入れるとなお良し！)



ほうれん草×ごま

ほうれん草のビタミンAやカロテンはごまの油分と一緒に食べると抗酸化作用が働き病気になるにくい身体に！



ブロッコリー×おなか

鉄分の吸収率UP！
カツオに含まれる鉄分が脳に酵素を運ぶので学習能力、運動能力もUP！

※ここにヨーグルトやフルーツ、インスタントのスープなどを取り入れるとまた栄養がUPします♪

【研修実績】

主催	研修名	人数
川崎市子ども未来局保育事業部	保育士等キャリアアップ研修	
	「マネジメント」	1
	「保護者支援 子育て支援」	1
	「乳児保育」	1
	「幼児保育」	1
中原区	主任・リーダー研修	
	「マネジメントリーダーの役割」	1
	「食品衛生研修会」	1
	「給食施設講習会」	2
	「0・1・2歳児保育」	3
	「0・1・2歳児の主体性を尊重した環境について」	1
	「子どもの人権を尊重した保育」	2
	「令和6年度 中原区地域子育て担当者会議」	1
	「保護者支援 子育て支援の意義」	3
	「3・4・5歳児の保育」	2
	「年長児担当者連絡会」	1
	「幼保小担当者連絡会」	1
	「幼保小連携」	1
	「中原区発達相談支援担当者会議」	1
	「中原区園長 校長会」	1
川崎市健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課	川崎市発達コーディネーター養成研修	1
川崎市社会福祉協議会	「第42回 保育研究大会」	1
一般財団 川崎市保育士会	保育士等キャリアアップ研修	
	「幼児保育」	1
	「マネジメント」	1
	「食育アレルギーリーダー」	1
	「保健衛生 安全対策」	1
白峰学園 横浜短期大学保育センター	保育士等キャリアアップ研修	
	「保護者支援 子育て支援」	1
	「乳児保育」	1
	「幼児保育」	1
川崎市中央療育センター	「ダウン症候群の食事」	2
	「難聴児の理解と支援」	1
高津消防署	「普通救命講習」	1

14 その他

<令和6年度民間民営指導監査について>

令和6年10月3日（木） 午前9時00分～午後17時00分

川崎市こども未来局総務部指導監査による実地指導監査の実施。

○文書指示、口頭指示なし



新井小学校放課後キッズクラブ 令和 6 年度 事業報告

1 活動場所

- ・キッズクラブ教室専用室及び図工室

※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました

2 開設時間

- ・月・水・金 13:30～19:00
- ・火・木 14:30～19:00
- ・土 学校休業日 8:30～19:00
- ・長期休業日 8:00～19:00

3 一斉下校時間

- ・3月～9月 17:00
- ・10月～11月・2月 16:30
- ・12月～1月 16:00

4 開設日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
25 (4)	24 (3)	24 (5)	26 (4)	26 (5)	23 (4)	292 日 (50 日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26 (4)	24 (4)	24 (4)	23 (4)	22 (4)	25 (5)	

() 内は土曜開設日数

5 在校生児童数、登録数、登録率

区分 2 定員：103 人

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
令和 5 年度	38 (3)	37 (3)	37 (3)	32 (2)	49 (2)	56 (6)	249 (19)
令和 6 年度 在籍児童数	35 (5)	35 (3)	33 (5)	33 (4)	30 (2)	45 (3)	211 (22)
令和 5 年度	35 (3)	30 (4)	25 (2)	17 (0)	12 (1)	19 (2)	138 (11)
令和 6 年度 登録児童数	33 (7)	28 (3)	30 (2)	22 (2)	13 (0)	12 (1)	138 (11)
令和 5 年度	92.1%	81.0%	67.5%	53.1%	24.4%	33.9%	54.1%
令和 6 年度 登録率	94.2%	80.0%	90.9%	66.6%	43.3%	26.6%	65.4%

利用延べ児童数：9082 人（内個別：1061 人）

- ()内は個別児童数※キッズクラブ特別な配慮児童含む 令和6年3月31日現在
- ・年々児童在籍数が減少傾向にありますが、令和6年度は前年に比べ、登録数が多く特に、1年生～3年生の登録が多かったです。
 - ・個別児童が増加傾向にあり、登録個別児童数に対して、職員の配置が難しい日もあり、職員の増員が、今後の課題の一つです。

6 職員

(1)

令和5年3月31日時点

職 種	勤務時間
主任 (常勤) 1名	13:00～19:00 (6時間)
副主任 (常勤) 1名	13:00～19:00 (6時間)
非常勤職員 12名	平日 5時間勤務 週 1日～5日 土曜・休業日 4時間～10時間勤務

- ・平日は9名体制をとり、土曜日や長期休業中は午前と午後を4名～5名体制で出勤しました。

(2) 健康管理

- ・余裕があるときにはラジオ体操をし、健康に勤めました。
- ・昨年同様血圧計を職場に設置し、血圧のチェックが出来るようになりました。
- ・非常勤職員が胸部レントゲンを受診しました。
- ・細菌検査(検便)を毎月、職員が提出しました。
- ・感染症予防の為、インフルエンザ注射を受けてもらいました。

(3) 職員会議

- ・可能な限り毎月1回、職員会議を行い、職員間での情報共有を徹底しました。学校(児童専任)にも週に1度は顔出し、児童の情報交換を行いました。

7 主な行事(プログラム)

月	主な活動・出来事	イベント	遅帰りクラブ活動	会議等
4	一斉下校 17:00 12日よりわくわく 区分受け入れ可能	わたがし作り体験 アイロンビーズ 新入生歓迎会 カレンダー作り 宝探し スマブラ王座決定戦	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	入学式(4/5) 企画会・職員会議
5	一斉下校 17:00	レッツプレイアート 検定(50走、一輪車、縄跳び) 検定(折り紙、キューブ、けん玉) 応援グッズ作り マッシュルにアタック	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	企画会・職員会議(以降8月を除き月1開催)

		ポップコーン屋さん テルテル坊主作り カレンダー作り ミサンガ・プレスレット作り スマブラ教室 スマブラ王座決定戦 カレンダー作り 巨大迷路でスタンプラリー 割りばし鉄砲作り		
6	一斉下校 17 : 00	ランプシェイド作り 検定（折り紙、キューブ、けん玉） レッツプレイアート ミニ本作り ピクミンで脱出ゲーム 防犯訓練 カレンダー作り プラバンキーホルダー作り 検定（50 走、一輪車、縄跳び） クラフトテープで何作ろ スマブラ王座決定戦 たこ焼き屋さん	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	
7	一斉下校 17 : 00	七夕飾り ビーズアクセサリ作り レッツプレイアート 検定（折り紙、キューブ、けん玉） マイクラ宝さがし 防災訓練 カレンダー作り 将棋王決定戦 検定（50 走、一輪車、縄跳び） シャボン玉作り レッツプレイボウリング遠足 スマブラ王座決定戦	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	夏季休業 7/25~8/28 第一回評議会
8	一斉下校 17 : 00	レッツプレイアート 夏祭り マリカー王座決定戦	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ	

		検定（折り紙、キューブ、けん玉） リアルフォートナイト 戦争のお話 カレンダー作り キッズ怪談 肝試し お楽しみ会 スマブラ王座決定戦	パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	参加型イベントにて保護者会開催
9	一斉下校 17 : 00	防災訓練 縁日 レッツプレイアート 検定（折り紙、キューブ、けん玉） マグネット作り カレンダー作り 検定（50 走、一輪車、縄跳び） スマブラ王座決定戦 エコバック作り 面白運動会	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	
10	一斉下校 16 : 30	シュシュ作り レッツプレイアート 検定（折り紙、キューブ、けん玉） シャカシャカキーホルダー作り コロコロコットン作り カレンダー作り 検定（50 走、一輪車、縄跳び） ハロウィン衣装作り ハロウィンパーティ スマブラ王座決定戦	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	
11	一斉下校 16 : 30	検定（折り紙、キューブ、けん玉） レッツプレイアート 紙漉きはがき作り レッツプレイマジック カレンダー作り	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	第一回保護者会 第一回保護者アンケート

		検定（50 走、一輪車、縄跳び） スマブラ王座決定戦 シアター 校外遠足（シーバラ）		
12	一斉下校 16 : 00	ステンドグラスづくり レッツブレイドッジボール レッツブレイアート 餅つき大会（町内会共催） 検定（折り紙、キューブ、けん玉） ツリー作り カレンダー作り 笛作り 検定（50 走、一輪車、縄跳び） スマブラ王座決定戦 お楽しみ会 レッツブレイバドミントン 大掃除&忘年会	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	年末休業 12/29～31
1	一斉下校 16 : 00	書初め 初もうで 検定（折り紙、キューブ、縄跳び） レッツブレイアート お正月遊び カレンダー作り 防災訓練 検定（50 走、一輪車、縄跳び） 将棋王決定戦 スマブラ教室 スマブラ王座決定戦	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	年始休業 1/1～3
2	一斉下校 16 : 30	豆まき 検定（折り紙、キューブ、縄跳び） レッツブレイアート カレンダー作り 検定（50 走、一輪車、縄跳び） 将棋王決定戦 スマブラ教室	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	

		スマブラ王座決定戦 POKEPOKE バトル		
3	一斉校 17:00	クレープ屋さん 卒業おめでとうプレゼント作り レッツプレイアート 防災訓練 キッズシアター 検定（50 走、一輪車、縄跳び） 卒業遠足 カレンダー作り スマブラ王座決定戦 新入生プレゼント作り	そろばんクラブ 家庭科クラブ スポーツクラブ パソコンクラブ ハンドメイドクラブ	入会説明会 & 第 2 回保護 者会 第 2 回評議会

（１）校外活動

- ・ボウリング遠足、校外遠足（レッツゴーシーパラ）、卒業遠足を行いました。

（２）その他イベント

- ・昨年に引き続き、ウィズコロナを念頭に、感染対策をしたうえで、出来る限り可能なイベントや運営を行いました。

8 保護者関係

- ・保護者参加型イベントを 8 月「肝試し」に実施し、保護者の方々と交流を図りました。また、3 月に保護者会と一緒に入会説明会を開催し、キッズクラブの活動の様子を新入生の保護者の方々にも見て頂く事で、よりキッズクラブの活動について理解して頂くことが出来ました。

尚、年度途中に、保護者の方々にアンケートを取り、質問や要望についての回答については、保護者専用アプリ「コドモン」にて掲載、保護者会でも説明する事ができました。

9 学校との連携

- ・児童専任、校長、副校長の 3 名の方と定期的に打ち合わせを行うだけでなく、毎週職員室へ行き、児童や学校・キッズクラブの情報を交換しました。

10 地域関係

- ・地域主催の会議や集まりも復活し、交流会や防災拠点訓練等で交流をとれました。またかかわりのある団体の代表とは、お電話やお手紙で連絡を取りました。
- ・新井町子ども会と共催で、町内の夏祭りでお店を出しました。12 月には同じく共催で餅つき大会を、新井小学校校庭で行いました。

11 防災対策・防犯対策

- ・火災避難訓練年（2 回）
- ・地震避難訓練（年 2 回）
- ・防犯訓練（年 1 回）

上記の訓練を不定期で行いました。

- ・下校指導（ほぼ毎日）

子どもたちの下校指導は、職員の余裕があるときには必ず行いました。

12 広報関係

- ・毎月キッズ便りを発行し、キッズクラブの情報を保護者や学校にお伝えしました。

13 その他

- ・サークル活動、及びクラブ活動を本格的にスタートさせました。

特に家庭科クラブでは「食育」を意識して、「食べ物大切さ」や「食べ残しゼロ」への指導も行い、保護者には好評でした。

漢字検定サークルでは、学年の復習から、合格を目指す漢検の級の漢字を勉強しました。実際漢検を受けて合格する児童もいます。これからも児童のやる気に添えるサークルであり続けたいと考えています。

- ・イベントに関しては、例年同様、昨年度終わりに児童の声を集めたり、保護者アンケート出た意見を参考に、一年間まんべんなく楽しめるように組み立てました。季節に沿ったイベントを組んで、行事の意味を勉強しました。
- ・児童の個性の多様性に伴い、児童や保護者からキッズクラブや職員に求められる知識や技術、心身の包容力、状況判断力が増してきているため、個々の研修や職員同士のチームワーク、職員同士を思いやる気持ちを育て、能力を最大限引き出せるような環境を作り、これからも児童と向き合っていきたいと考えています。